

1997年 ロカルノ国際映画祭銀豹賞、主演女優賞、全キリスト教会賞、YOUTH賞、FICC/IFFS賞 5部門受賞
1997年 モントリオール世界映画祭特別賞受賞 / 1998年 ロッテルダム国際映画祭観客賞受賞 / 1998年 トロムセ映画祭観客賞受賞

ガッツォ・デロ

Gadjo Pilo



愛と真実と音楽と、ぼくの人生を変えたこと。

監督・脚本・音楽:トニー・ガトリフ / 主演:ロマン・デュリス ローナ・ハートナー 1997年 / フランス・ルーマニア / ビスタサイズ / 100分
後援:フランス大使館 協力:ユニフランス・フィルム サントラ:ワーナーミュージック・ジャパン 配給:日活 <http://www.nikkatsu.com>

UN FILM DE TONY GATLIF Roman Duris/Rona Hartner / L'éditeur français original Tony GATLIF Image: Eric BUCHARD / France-Francis PRADEPACT / Son: Nicolas MARGELIN Montage: Monique PASTORNI / Foretune de Production / Denis MITRAN
Producteur exécutif: Guy AMARIGNANE / Musique Originale: Tony GATLIF / Aide Musicale: Rena HARTNER / Une production: PRINCES FILMS avec la participation de CANAL+ et du Centre National de la Cinématographie et de la SACEM © 1997 PRINCES FILMS

希望に満ちあふれたエネルギーが大地を感じさせてくれる。

阿木燿子(作詞家)

ガッジョ・ディーロ

Gradja Pilo

世界中が魂の音楽と官能的なエネルギーに沸いた愛と真実の物語

享楽主義、お酒好き、性力旺盛、体の中からの音楽との結びつき。真の共同生活観を持っているのがロマ=ジプシーである。女たちは色鮮やかな衣服をまとって踊り、花の香りを体につける。男たちは楽器を片手に、叫ぶようにして唄う。

一本のテープを頼りに幻の歌姫を探して旅をするステファンは、ロマの村にたどりつく。よそ者に対して冷たい態度をとるロマ。ステファンのことを気に入っている老人インドールは皆を説得し、村に招き入れる。情熱的なサビーナとの恋、質素でたくましいロマとの共同生活。ある事件をきっかけに、ステファンは大切なものをみつけていく。"ガッジョ・ディーロ"とはロマ(ジプシー)語で"よそ者"を意味する。

ローナ・ハートナーはハイオクだ。「サンフランシスコ・エクザミネー」
この先このような映画をみることは決してないだろう。「オンスクリーン」



1997年 ロカルノ国際映画祭銀豹賞、主演女優賞、全キリスト教会賞、YOUTH賞、FICC/IFFS賞 5部門受賞
1997年 モントリオール世界映画祭特別賞 受賞/1998年 ロッテルダム国際映画祭観客賞 受賞/1998年 トロムセ映画祭観客賞 受賞

魅惑の歌声をもつ現代のニューヒロイン、ローナ・ハートナーを生んだトニー・ガトリフ監督最新作

『モンド』(97)で、心温まる透明な映像が観客の心をつかんだトニー・ガトリフの新作「ガッジョ・ディーロ」は、パリからきた青年ステファンとロマの、音楽と魂とで結びついた、恋愛物語である。主人公ステファンに、「青春シンドローム」(97)「ドーベルマン」(98)に出演し、フランス俳優界注目目のロマン・デュリス。(97)「ドーベルマン」(98)に出演し、フランス俳優界注目目のロマン・デュリス。彼と情熱的な恋に落ちるサビーナには期待の新人女優ローナ・ハートナー。この作品でロカルノ国際映画祭主演女優賞を受賞。欲望のおもむくままに、歌い、踊り、真の自由をもっているロマの女性を体当りの演技で演じきり、現代の

力強く情熱的に生きている女性の新しい姿を完成させた。ロカルノ国際映画祭をはじめ海外の映画祭で高い評価をうけた「ガッジョ・ディーロ」は、トニー・ガトリフ監督の集大成ともいえるだろう。世界14ヶ国で上映され(98年8月現在)、いよいよ日本公開となる。



監督・脚本・音楽:トニー・ガトリフ 撮影:エリック・ギシャール 美術:ブリジット・ブラッサール
録音:ニコラ・ネジレン 編集:モニック・ダルトンヌ 製作:フランス フィルム
出演:ロマン・デュリス ローナ・ハートナー イジドル・サーバン
1997年/フランス・ルーマニア/ビスタサイズ/100分/100分/日本語字幕:柴田香代子
後援:フランス大使館 協力:ユニフランス・フィルム サントラ盤:ワーナーミュージック・ジャパン

音と人が生きている場所で 東琢磨(音楽評論家)

軋むような記憶の重さ。大地を渡る風のような歌の遠さ。目をくらす光のような声の動き。ひとつであることを決して許さない無数の細かい響き。飼いならされることを拒絶するような拍子の複雑さ。心のかさぶたを引き剥がすような音のかけらの鋭さ。全てを包み込む冷たい雪のような優しさ。艶やかであからさまな強い香り。バルカンのロマ(ジプシー)の妻である音の、絞り出す声の、強靭さ、深さをどのように表現しているのか、私にはわからない。しかし、分らないまでも音楽に魅かれるほどたやすいことはない。この映画では、そんな強烈な音楽に魅かれた、署名のある音楽に満ちた場所からやって来た青年が出会うもうひとつの衝撃を描くことで、彼らのだけでなく、私たちの足下をも照らし出す。音楽が生活のあらゆる喜びにも哀しみにもびったりと寄り添って重なって生きている場所では、人も音も私たちとは違う「生」を生きている。



配給:日活 <http://www.nikkatsu.com>

ヨーロッパ+ケベックにおけるフランス映画ベストテンで堂々第1位!! (98年9月期)

1位 ガッジョ・ディーロ 2位 TAXI 3位 LE BOSSU/愛と復讐の騎士(仮) 99年1月ユニフランスレターより

お待たせしました!

5/22(土)~6/4(金)まで感動のロードショー!!

6/5(土)よりレイトショーにて21時05分より続映 ※レイトショーの終了日は劇場までお問い合わせください。

- 前売特別鑑賞券 1,500円発売中! (当日一般1,800円の処)
- 劇場窓口、阪急、阪神、東映、エスティPG、チケットセン、チケットびおにてお求め下さい。
- 劇場窓口でお求めの方に、オリジナルポストカードをプレゼント! (限定)

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

連日 12:30 2:40 4:50 7:00